

創業から1世紀 — 時代とともに多様な事業を グローバルに展開

1913

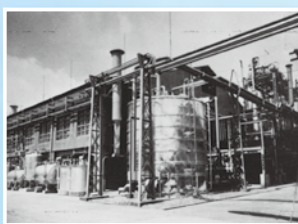


住友肥料製造所

銅製錬で生じる煙害の防止を目的に
住友肥料製造所が発足

住友の中核事業であった別子銅山で銅製錬の際に発生する排ガスの中から有害な亜硫酸ガスを除去し、それを原料に肥料を製造したのが住友化学の始まり

1953



ピナミン工場（西島）

農業化学事業に進出

家庭用殺虫剤
「ピナミン」の発売から、
農業化学の事業を
スタート

1944



日本染料製造 春日出工場

ファインケミカル事業に進出

染料や医薬などのファインケミカル事業を展開する
日本染料製造を合併

1958



エチレン工場（大江）

石油化学事業に進出

海外から技術を導入し、
愛媛の大江地区にエチレン工場を建設、
本格操業を開始

■ 売上高／売上収益^{※1・2} 1915－1977年：単体 1978－2018年：連結

※1 2016年度よりIFRS（国際会計基準）

※2 1995年度より会計年度を4－3月に変更。1995年1～3月の売上高は1994年度に加算

1915

1920

1925

1930

1935

1940

1945

1950

1955

1960

住友化学の
変遷

1915-1944
化学メーカーとしての基礎づくり

1945-1974
総合化学メーカーへの成長

社会の動向

1914-1918
第一次世界大戦

1929
世界恐慌

1939-1945
第二次世界大戦

1954-1973 高度経済成長期
1964
東京オリンピック



▶ 1984
住友製薬株式会社の発足

▶ 1984



シンガポール石油化学
コンビナート 操業開始

▶ 1988



農薬の開発・販売拠点
ペーラントU.S.A. 設立 (米国)

▶ 1991



東友半導体薬品 (現・東友ファイ
ンケム) 設立 (韓国)

▶ 2001
情報電子化学部門を新設

▶ 2009



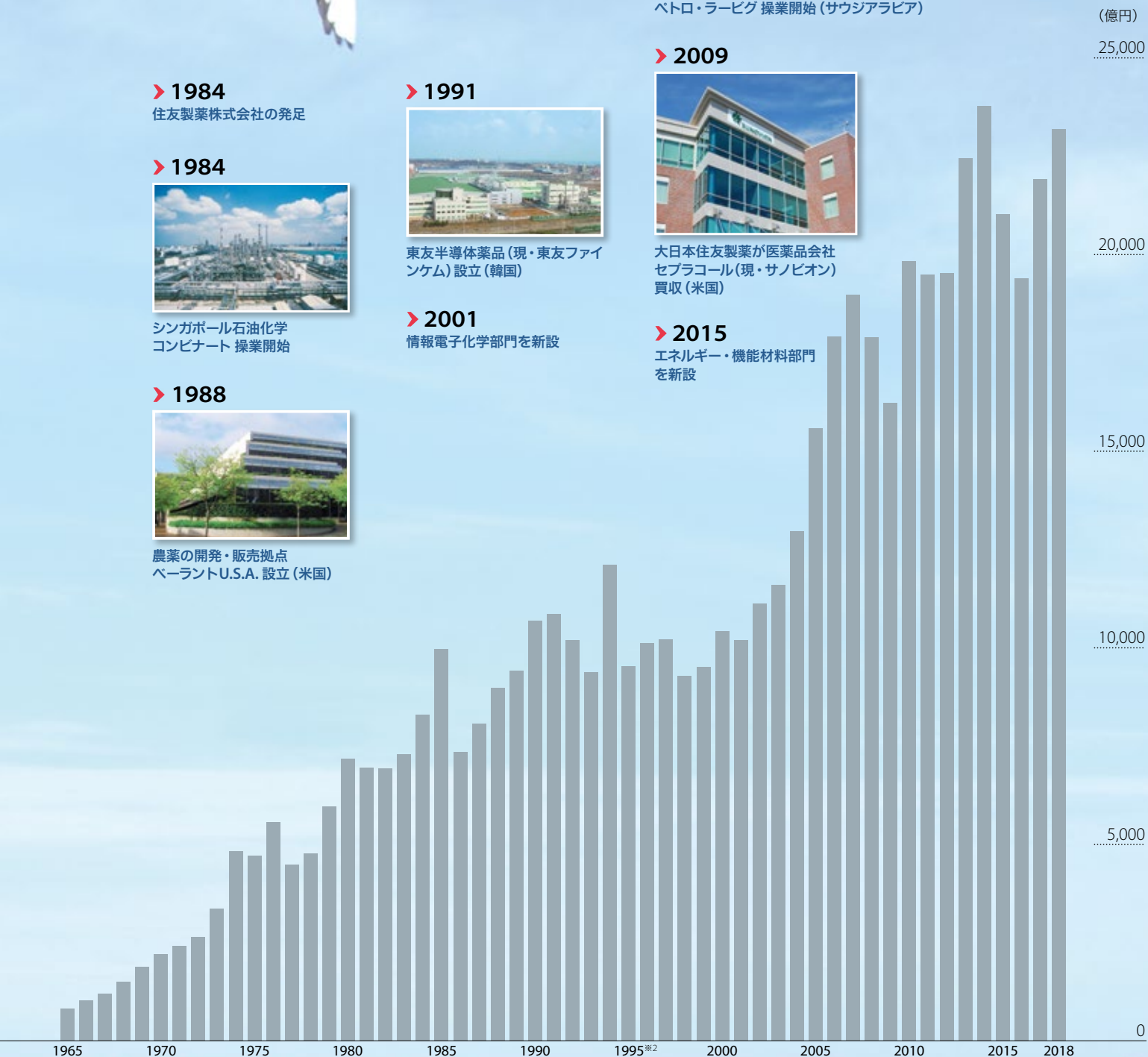
ペトロ・ラービグ 操業開始 (サウジアラビア)

▶ 2009



大日本住友製薬が医薬品会社
セブラコール (現・サノビオン)
買収 (米国)

▶ 2015
エネルギー・機能材料部門
を新設



1975-2004
全事業を世界へ

2005-
グローバル経営の深化

1973
第一次
オイル・ショック

1978
第二次
オイル・ショック

1985
プラザ合意

1987
ブラック
マンデー

1989
ベルリンの壁崩壊

日経平均株価が
過去最高値を更新

1999
欧州単一通貨
ユーロ誕生

2001
米国で同時多発テロ事件

2008
リーマンショック

2012
欧州債務危機